◆2024年3月の新刊　日本キリスト教団出版局

説教ワークブック

豊かな説教のための15講

2024年
3月19日
刊行予定

トマス・H・トロウガー／
レオノラ・タブス・ティスデール　著

吉村和雄（よしむらかずお）　訳

1949年、福島県いわき市生まれ。東京大学工学部卒業、東京神学大学大学院修士課程修了。1990－2021年、単立キリスト品川教会主任牧師。現在は同教会名誉牧師。

米国イェール神学校で説教を教える2人が、説教準備を完全ガイド。「よい説教とは何か」の検討から始まり、「説教に向けてどう聖書を読むか」「聖書釈義の仕方」「月曜日から日曜日までの毎日をどう過ごすか」「説教が会衆に届いていないと感じるとき、どうするか」「説教者として知っておきたい説教の基本形のレパートリー」などなど。神学生から熟練の説教者まで、誰もが待っていた一冊。

A5判・並製・200頁・定価3,300円（本体3,000円＋税）

ISBN978-4-8184-1160-9　C0016

【目次】1 よい説教のしるし／2 説教における多様性／3 説教のための創造的な聖書の読み方／4 説教のための聖書釈義／5 人々が受け取る説教／6 説教におけるイマジネーションの役割／7 毎週の説教準備のプロセス／8 説教のために会衆を釈義する／9 説教の中で多重知能を用いる／10 説教の形のレパートリー／11 神学と説教／12 神学を説教へと受肉させる／13 説教に対する聴き手の抵抗感を知る／14 説教を通して会衆の抵抗感に語りかける／15 説教の伝え方